

広島県における知財活動の概要

平成28年3月18日

株式会社NTTデータ経営研究所

I. 広島県の知財の現状

1. 知財戦略
2. 出願動向
 - (1) 出願・登録状況
 - (2) 地域団体商標取得状況
3. 支援人材
 - (1) 弁理士登録人数・知財総合支援窓口支援人数
 - (2) 弁理士事務所数、知財ビジネス企業数
4. 支援推進体制
5. 支援事業
 - (1) 県による事業
 - (2) 国との連携事業

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

1. 産業特性
2. 県内企業による知財活用事例

1. 広島県の知財の現状

1. 知財戦略

- 広島県では、特に知財に特化した戦略や指針は策定していないが、企業活動のベースになるものとして重要なものであるという認識を持っている。「ひろしま産業新成長ビジョン～イノベーション立県を実現します～(H23策定)」の中では、産業イノベーションを進めるための取組として知財に関連する目標が設定されている。

「ひろしま産業新成長ビジョン」の方策(知財関連の記載抜粋)

「ひろしま産業新成長ビジョン」の全体構成

- 1 策定に当たっての考え方
- 2 本県産業を取り巻く環境
- 3 基本理念
- 4 目指すべき姿(将来像)
- 5 目指すべき姿の実現のための基本方針
- 6 本県産業振興の方向性
 - I 新たな産業の育成
 - II 基幹産業の競争力の強化
 - III アジアを中心とする成長市場を取り込んだ事業展開(アジア戦略)
- 7 付加価値・競争力を高めるイノベーション力の強化
 - I イノベーション創出のための取組方針
 - II 広島県におけるイノベーション創出のための取組(方向性)
 - III 産業クラスター形成などプロジェクトの推進

知財関連の記載抜粋

| 方針 | 取組内容 | |
|--|---|---|
| 7. 付加価値・競争力を高めるイノベーション力の強化 | | |
| II. 広島県におけるイノベーション創出のための取組(方向性) (4)事業化 ②戦略的な知的財産管理への支援 | 目指すべき姿(将来像) | <ul style="list-style-type: none"> 企業の持つ知的財産の有効活用の支援体制が充実 知的財産が有効活用されるためのワンストップサービスが充実 |
| | 現状、課題 | <ul style="list-style-type: none"> 県内企業においては、企業内の知的財産戦略、出願ノウハウ、事業化に対するマネジメントなどが十分に整備されているとは言えない状況にあり、今後は知的財産の戦略的活用(状況に応じた秘匿管理と知財ビジネス化の選択等)の促進が必要 |
| | 取組の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> 知的財産を活用した事業戦略の構築・展開の支援 ✓県内中小企業の知的財産に関するワンストップ窓口を整備するなど、研究開発段階から事業化までの一貫した支援や、知的財産に関する課題解決の支援を総合的に行う |
| III. 産業クラスター形成などプロジェクトの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 今後大きな成長が期待される分野については、産業の地域への波及効果の拡大をめざし、産学金官が連携して高付加価値製品と新たなビジネスモデルを創出するための取組を行う ✓製品化・事業化に向けたプロジェクトごとの産学交流とビジネス支援 関連する複雑な法令や知的財産戦略に関して、専門家によるアドバイスを行う | |

*出典:ひろしま産業新成長ビジョン

1. 広島県の知財の現状

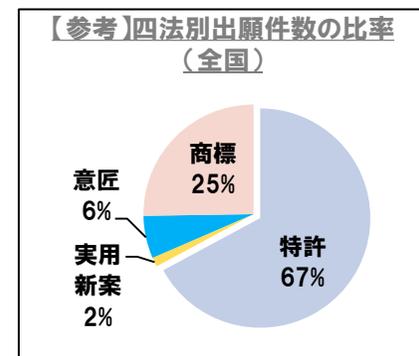
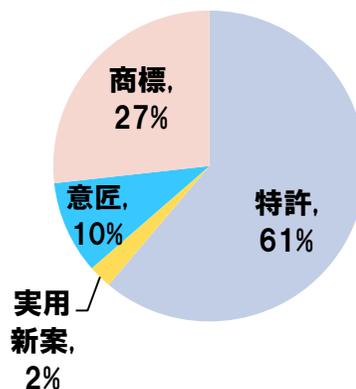
2. 出願動向 (1) 出願・登録状況

- 四法別の出願比率は全国平均に近い。特許等の出願件数や創作者数(意匠)等は、全国的にみて上位である。
- 業種別出願件数でみると、輸送用機械器具製造業の特許出願が多く、商標では食品製造業の出願が多い。

広島県における特許等の出願及び登録の状況

| 四法 | | 件数 | 出願順位(全国) |
|----------|----|------|----------|
| 特許 | 出願 | 2422 | 9位 |
| | 登録 | 1748 | |
| 実用新案 | 出願 | 96 | 13位 |
| | 登録 | 92 | |
| 意匠 | 出願 | 382 | 12位 |
| | 登録 | 321 | |
| 商標 | 出願 | 1060 | 12位 |
| | 登録 | 861 | |
| 国際出願(特許) | | 238 | 13位 |
| 国際出願(商標) | | 21 | 12位 |

四法別出願件数の比率



業種別出願件数と全国順位

| | 輸送用機械器具製造業 | | | 食品製造業 | | |
|------|------------|------------|------------|-------|------------|------------|
| | 件数 | 県内順位 ※1 | 全国順位 ※2 | 件数 | 県内順位 ※1 | 全国順位 ※2 |
| 特許 | 1,053 | 1位 | 6位 | 15 | 16位 | 11位 |
| 実用新案 | 3 | 4位 | 6位 | 2 | 6位 | 4位 |
| 意匠 | 70 | 2位 | 7位 | 1 | 20位 | 12位 |
| 商標 | 29 | 9位 | 7位 | 133 | 1位 | 8位 |

発明者数および創作者数(2014年)

| | 2014年 | 全国順位 |
|----------|--------|------|
| 発明者数(特許) | 7,595名 | 13位 |
| 創作者数(意匠) | 884名 | 9位 |

*出典:特許行政年次報告書2015年版
※日本人によるもの(平成26年)

※1 県内順位:広島県内で標記業種の出願件数が何位かを明示

※2 全国順位:標記業種の企業において広島県企業の出願件数が全国で何位かを明示

*出典:特許庁普及支援課提供データ

1. 広島県の知財の現状

2. 出願動向 (2) 地域団体商標取得状況

- 地域団体商標の出願件数は25件で、全国15位である。
- 種別で見ると、かんきつ類をはじめとした果物等の農作物が多く登録されている。

地域団体商標の取得状況

| 登録件数 | 出願件数 | 出願順位 (全国) |
|------|------|-----------|
| 14 | 25 | 15位 |

地域団体商標一覧

| 登録名称 | 種別 |
|----------|------|
| 1 広島みかん | 農作物 |
| 2 広島はっさく | |
| 3 高根みかん | |
| 4 広島レモン | |
| 5 三次ピオーネ | |
| 6 福山のくわい | |
| 7 大長レモン | |
| 8 大長みかん | |
| 9 広島かき | 海産物 |
| 10 広島酒 | 加工食品 |
| 11 福山琴 | 工芸品 |
| 12 府中家具 | |
| 13 広島針 | |
| 14 びんご畳表 | |

農作物の登録件数が多い

地域団体商標取得団体の分布MAP



*出典：特許庁ホームページ地域団体商標MAP
(平成27年12月31日までに登録されたもの)

出典：白地図をベースにNTTデータ経営研究所にて作成
出典：地域団体商標事例集2015

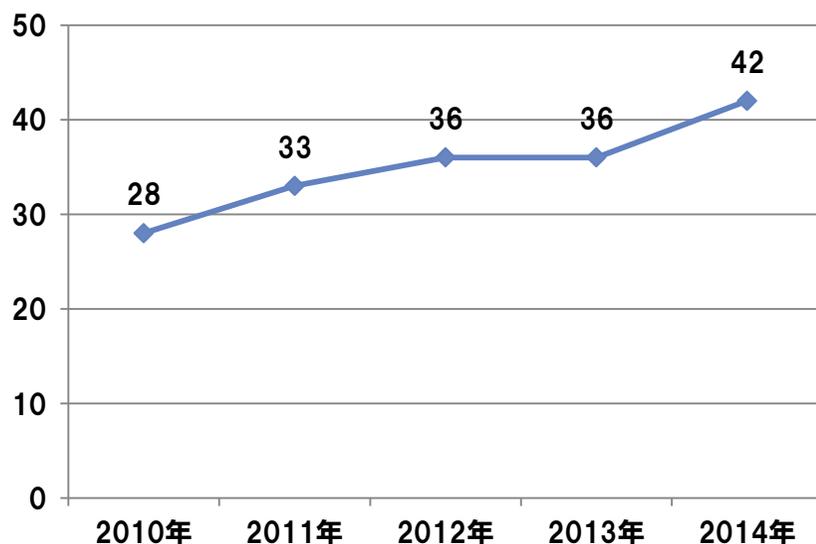
1. 広島県の知財の現状

3. 支援人材 (1) 弁理士登録人数・知財総合支援窓口支援人数

- 弁理士登録人数は、2010年から増加傾向にあり 2014年末時点で42人、全国第16位である。

広島県における弁理士登録人数の推移

(単位:人)



*出典: 特許行政年次報告書<統計・資料編>2011年~2015年

知財総合支援窓口支援人数

| 窓口担当者 | 配置弁理士 | 配置弁護士 | 合計 |
|-------|-------|-------|-----|
| 4名 | 4名 | 2名 | 10名 |

*出典: 特許庁普及支援課

知的財産管理技能士数

| 1級 | 2級 | 3級 | 合計 | 全国順位 (合計) |
|-----|------|------|------|--------------|
| 11名 | 373名 | 540名 | 924名 | 14位 |

*出典: 知的財産管理技能検定ホームページ

1. 広島県の知財の現状

3. 支援人材 (2) 弁理士事務所数、知財ビジネス企業数

- 弁理士ナビに掲載されている広島県内の弁理士事務所は33箇所。また、INPITの知財取引事業者一覧リストには、広島県内企業が3社登録されている。

広島県内の弁理士事務所

| | |
|----|---|
| 1 | 芦田・木村国際特許事務所広島事務所 |
| 2 | 維新国際特許事務所広島オフィス |
| 3 | 市川特許事務所 |
| 4 | 太田国際特許事務所広島支所 |
| 5 | 岡野特許商標事務所 |
| 6 | 鍵下特許事務所 |
| 7 | 霞が関国際特許事務所広島出張所 |
| 8 | 悴熊特許事務所 |
| 9 | 片田特許事務所 |
| 10 | かなえ国際特許事務所福山オフィス |
| 11 | かわすみ特許商標事務所 |
| 12 | 迎田国際特許事務所 |
| 13 | 佐藤特許事務所 |
| 14 | 専徳院特許事務所 |
| 15 | たていし弁理士事務所 |
| 16 | 鶴亀特許事務所 |
| 17 | 中島特許事務所 |
| 18 | 二上特許事務所 |
| 19 | 西日本法律事務所 |
| 20 | 新田特許事務所 |
| 21 | 信末特許事務所 |
| 22 | 特許業務法人HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK広島事務所 |
| 23 | フリーダム特許事務所 広島オフィス |
| 24 | 古田・田村特許事務所 |
| 25 | フロンティア国際特許事務所広島オフィス |
| 26 | 弁護士法人岡野法律事務所 |
| 27 | 弁護士法人岡野法律事務所 尾道さくら支店 |
| 28 | 保坂特許事務所 |
| 29 | 特許業務法人前田特許事務所広島オフィス |
| 30 | 三島特許事務所 |
| 31 | 三原特許事務所 |
| 32 | 特許業務法人山広特許事務所 |
| 33 | 横谷法律特許事務所 |

*出典：弁理士ナビ(弁理士会ホームページ)

広島県の知的財産取引事業者

| | 事業者名 | 所在地 |
|---|--|---------------|
| 1 | ウィズウイン株式会社 | 広島市中区 |
| | 知的所有権を有するアイデアやこれから知的所有権を取得しようとするアイデアを商品化するためには通常試作品を製作し、マーケティングリサーチを行う「バーチャル試作品マーケティングリサーチ・システム」を提供。 | |
| 2 | 日鋼設計株式会社 | 広島市安芸区 |
| | 各種樹脂成形加工技術の知的財産を有し、樹脂加工機械の設計とその電気計装設計及び制御ソフト設計、一般産業機器の製品開発評価及び機器製造、各種エンジニアリングサービスを実施。 | |
| 3 | 企業組合 リエゾンコンサルティング協会 | 広島市中区 |
| | 各専専門的な知識、技術、技能又は経験を活用して行う指導、調査及び開発（技術移転活動に関わる各種調査やコンサルティング等のサポート業務を含む）など、幅広いニーズに対応。 | |

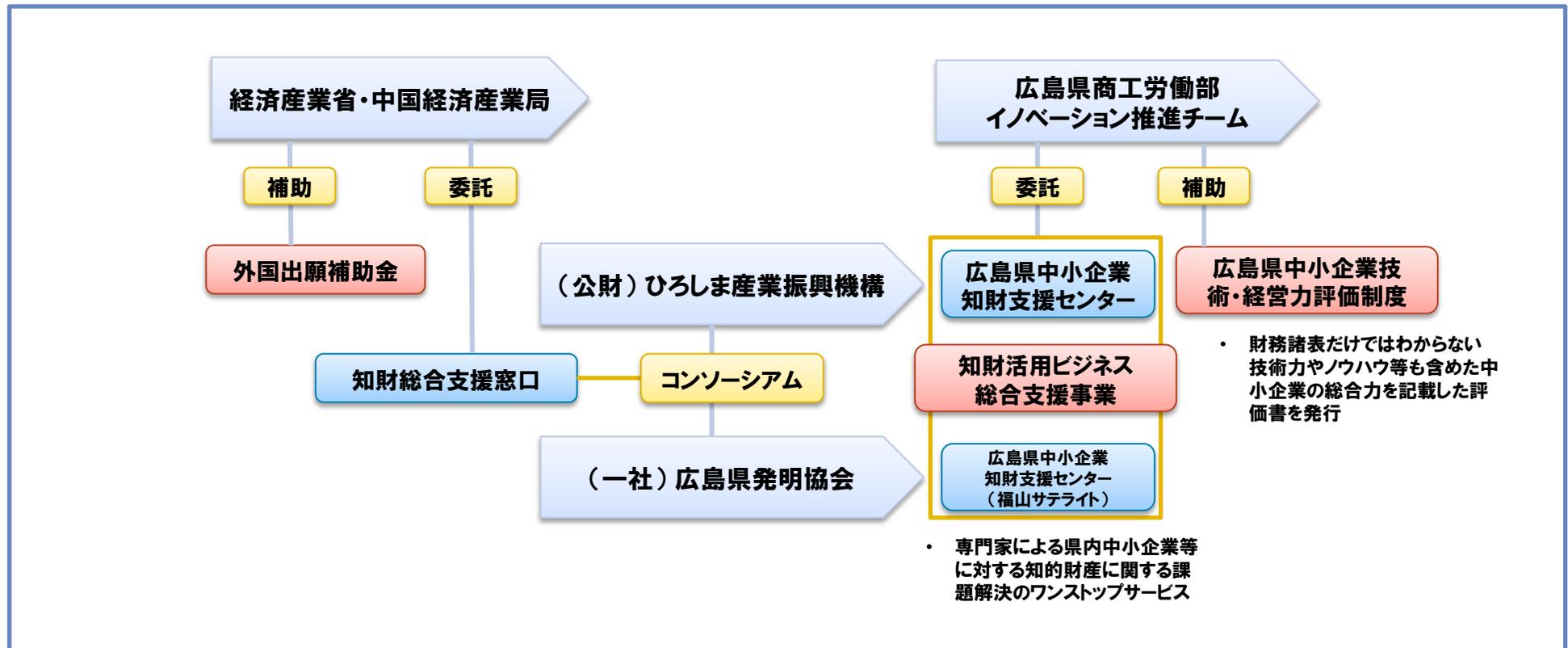
*出典：INPIT 知的財産権取引事業者一覧

1. 広島県の知財の現状

4. 支援推進体制

- 広島県では、「知財活用ビジネス総合支援事業」として、広島県中小企業知財支援センター(ひろしま産業振興機構内)に専門家を配置し、知財に関する課題解決をワンストップで支援している。また、補助事業として「広島県中小企業技術・経営力評価制度」の事業を(公財)ひろしま産業振興機構が実施している。

広島県の知財事業の実施体制



1. 広島県の知財の現状

5. 支援事業 (1) 県による事業

知財の事業

- 広島県では、「知財活用ビジネス総合支援事業」として、広島県中小企業知財支援センター（ひろしま産業振興機構内）に専門家を配置し、知財に関する課題解決をワンストップで支援している。平成26年度実績は以下の通り。

| | 相談種別 | 実績 |
|---|-------|------|
| 中小企業知財支援センター (運営：(公財)ひろしま産業振興機構) | 企業訪問等 | 181件 |
| | 相談案件数 | 148件 |
| 中小企業知財支援センター福山サテライト (運営：(一社)広島県発明協会) | 窓口支援 | 218件 |
| | 訪問支援 | 43件 |

- また、(公財)ひろしま産業振興機構で「広島県中小企業技術・経営力評価制度」を運用し、財務諸表だけではわからない技術力やノウハウ等も含めた中小企業の総合力を記載した評価書を発行している。これまでの累積実績は今の通り。

| 利用実績 | 融資件数 | 融資額 | (平成27年9月末時点) |
|-------------------|------|---------|--------------|
| 100件 (うち27年度は27件) | 50件 | 約13.6億円 | |

広島県中小企業 技術・経営力評価 制度の活用事例

- (株)コーポレーションパールスター**：長年蓄積された機能性靴下の製造技術・ノウハウや大学や病院との連携などの幅広いネットワークの活用が専門家から認められ、高い技術評価を受けた。これが、取引先や金融機関等にアピールするツールとなり、信頼関係が今以上に強固なものとなった。
- ルーチェサーチ(株)**：評価結果を踏まえ、知財戦略の方向性を明確化。県預託融資制度（事業活動支援資金）の活用により、事業拡大に伴う資金支援につながった。
- (株)ミヤテック**：中小企業技術・経営力評価制度」の評価結果を踏まえ、知財戦略を推進するため、(一社)広島県発明協会と連携して支援。金融機関の職員と共同で作成した報告書をもとに、全社員向けの発表会を実施し、意識の共有化につながった。

*出典：(公財)ひろしま産業振興機構ホームページ

知財関連予算

- 「知財活用ビジネス総合支援事業」の予算は平成26年度で13,769千円、27年度で12,283千円。

市町村の取り組み で特筆すべき事例

- 福山市：「福山市知的財産権取得支援事業」として、市内の中小企業者が国内における知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権）を取得する際にかかる費用の一部を助成している。（補助金額：補助対象事業費×1/2以内、限度額：10万円、同一出願案件1回・当該年度1中小企業者1回限り）
- 東広島市：「東広島市ものづくり新事業展開支援事業」のうち「知的財産権取得事業」として、自社の有する技術又は製品の保護やブランド力の向上を目的として行う知的財産権（特許、実用新案、意匠、商標）の取得に関する事業について費用の一部を補助している。（補助率1/2以内、限度額10万円）

*出典：各自治体ホームページ

1. 広島県の知財の現状

5. 支援事業 (2) 国との連携事業

- 知財総合支援窓口での支援件数および外国出願補助金採択数は年々増加傾向にある一方で、初心者説明会の参加者数は減少傾向にある。

知財総合支援窓口における支援件数



知財総合支援窓口における支援件数の全国順位

| 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|
| 28位 | 6位 | 12位 |

外国出願補助金採択数

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 特許 | 7 | 13 | 12 |
| 実用新案 | - | 0 | 2 |
| 意匠 | 0 | 0 | 1 |
| 商標 | 1 | 12 | 8 |
| 冒認対策 | - | 1 | 1 |
| 合計 | 8 | 26 | 24 |

知的財産権制度説明会(初心者向け)参加者数

| 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|--------|--------|--------|
| 153 | 150 | 130 |

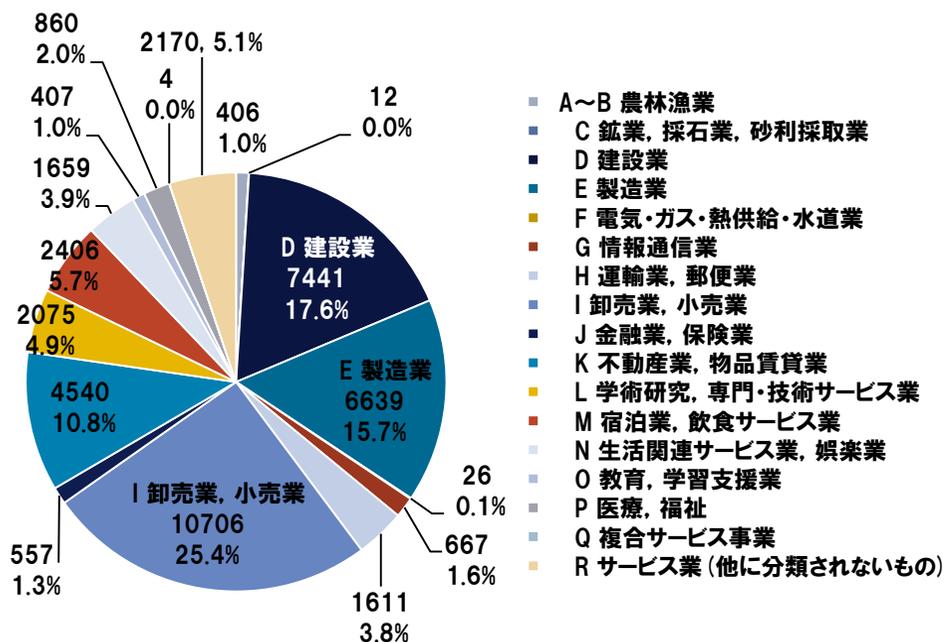
*出典: 特許庁普及支援課

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

1. 産業特性

- 業種別企業数は卸・小売業が最も多い25.4%、次いで建設業が多い。製造品出荷額は航空機や自動車等の輸送用機械器具製造業、鉄鋼業が多い。全国順位で見ると木材・木製品製造業、家具・装備品製造業も高い。

広島県における業種別企業数



* 出典：経済センサス(平成26年結果)

産業中分類別製造品出荷額および事業所数(平成24年度)

| 業種 | 製造品出荷額 | | 事業所数 | |
|-------------------|-------------|------|------|------|
| | 額(万円) | 全国順位 | 数 | 全国順位 |
| 輸送用機械器具製造業 | 241,461,993 | 4 | 662 | 4 |
| 鉄鋼業 | 148,920,377 | 4 | 185 | 7 |
| 生産用機械器具製造業 | 68,196,359 | 7 | 647 | 10 |
| 食料品製造業 | 60,097,684 | 14 | 669 | 16 |
| 情報通信機械器具製造業 | 41,924,875 | 11 | 19 | 21 |
| 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | 40,434,667 | 10 | 56 | 30 |
| プラスチック製品製造業 | 39,531,245 | 12 | 249 | 18 |
| 化学工業 | 33,363,081 | 23 | 97 | 18 |
| 非鉄金属製造業 | 33,137,327 | 14 | 66 | 17 |
| 金属製品製造業 | 29,288,093 | 18 | 723 | 14 |
| はん用機械器具製造業 | 25,683,190 | 13 | 237 | 8 |
| 電気機械器具製造業 | 20,346,479 | 22 | 224 | 14 |
| 窯業・土石製品製造業 | 13,089,434 | 21 | 209 | 22 |
| パルプ・紙・紙加工品製造業 | 12,518,920 | 15 | 127 | 14 |
| 木材・木製品製造業 | 11,850,172 | 4 | 196 | 8 |
| 繊維工業 | 11,393,404 | 12 | 452 | 12 |
| 印刷・同関連業 | 10,955,263 | 11 | 258 | 15 |
| ゴム製品製造業 | 8,095,658 | 14 | 87 | 10 |
| 業務用機械器具製造業 | 6,225,531 | 25 | 62 | 18 |
| 飲料・たばこ・飼料製造業 | 5,669,143 | 31 | 87 | 19 |
| その他の製造業 | 4,913,751 | 24 | 236 | 12 |
| 家具・装備品製造業 | 4,603,672 | 13 | 231 | 9 |
| 石油製品・石炭製品製造業 | 1,508,721 | 22 | 28 | 12 |
| なめし革・同製品・毛皮製造業 | 275,529 | 21 | 7 | 26 |

* 出典：平成24年経済センサスー活動調査

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

2. 県内企業による知財活用事例 ①株式会社キーレックス

社内の部署を横断した「職務発明委員会」を設置、運用ルールとして発明の補償金に関する規定等を盛り込んだ「職務発明規定」を策定したことで開発を促進

1 基本情報

- ・ 所在地： 広島県安芸郡海田町南明神町2番51号
- ・ 設立： 平成13年3月
- ・ 資本金： 2億4,000万円

2 事業概要および特徴

- ・ 自動車の車体部品の開発・生産・組立までを全て自社で行う企業で、2001年3月に株式会社クラタと三浦工業(株)の2社が合併して設立した。プレス技術と溶接技術を基盤に自動車部品や金型を製造し、売り上げ比率では車の車体が68%と最も多い。保有知財は特許約60件、意匠約10件である。



<同社製品である蓋物部品の一例>

3 特許侵害の係争が身近で起こり知財の重要性を認識

- ◆社内に職務発明委員会を立ち上げ知財に力を入れるように
 - ・ 22008年頃から知的財産に対する係争が国内でも増加する傾向にあるが、弊社でも自社独自の生産活動を安定的に継続するための防衛が必要になり、開発業務を含めた生産を行う前に特許等の先行技術を確認する重要性が拡大した。そこで翌年から社内に職務発明委員会という組織を立ち上げ、技術部門に事務局となる担当者を置いて特許防衛の側面から活動を開始した。それまでは年間1件程度の出願であったが、活動を進めるようになってから年間10~15件程度の出願を行うようになり、防衛だけでなく発明提案についても技術部門から生産現場へと全社的な活動に広がり、従業員のモチベーション向上となり、業務の改善や改良などが以前よりも活発となってきている。

◆社内に埋もれた技術の発掘から特許性の確認を行う

- ・ 当初は、実施する技術に対して先行技術の調査や評価、検討を行い、実施に際して問題がないか等の確認が多かったが、従来であれば特許出願まで検討しなかったような技術でも実際には権利化が図れる可能性があることを活動の中から知得することができたため、本来の発明委員会としての趣旨でもある発明の啓蒙に軸足を変えて、社内に埋もれた技術の発掘から特許性の確認を行い、先行技術の有無を確認しながら独自技術としての権利化へと進めてきた。

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

2. 県内企業による知財活用事例 ①株式会社キーレックス

5

職務開発委員会で「職務発明規定」を制定

◆部門横断の職務発明委員会で運用ルールを制定

- 社内の職務発明委員会では「職務発明規定」という運用ルールを定め、組織構成も記載している。職務発明委員会の委員長は技術本部長、副委員長は知的財産管理部門の所属部長、委員は各部門の部長以上で構成している。職務発明規定には、発明の補償金に関する規定等も盛り込まれている。

◆社員への知財教育も積極的に実施

- 社員に対する教育としては、エンジニアリング教育の中に知財科目を入れて年に2回程度講習を行っていたが、それも一巡したため、現在は新入社員教育の中で知財の制度や法律的な概要と自社が保有する特許の説明などを行い入社初期より知財意識の浸透を図っている。その他、ひろしま産業振興機構や広島県発明協会が主催する各種事業や講演会等に参画して知財スキル向上に努めている。

6

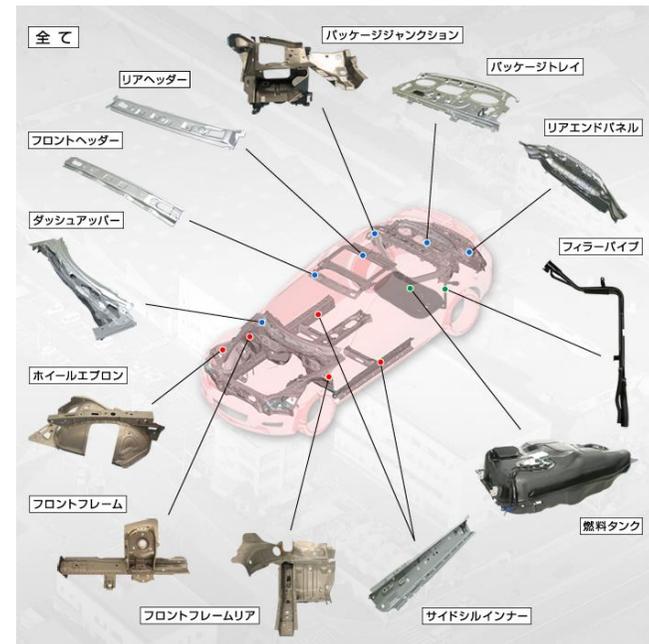
ルールを決めたことで提案が容易に

- 職務発明規定というルールを決めて取り組んだことで、各自が提案を行いやすくなったと感じている。また、知財に関する事務局を置いたことで弁理士と自社の考案者との間を取り持つ環境ができたため、独自技術の発掘や考案者からの提案が容易になったと同時に、表現しがたい点や思い違いなどが防げて、確保または担保すべき技術範囲の明確化ができるようになった。

7

知財活動を積極的に行うことで取引が有利に

- 競合他社が出願して公開中のものを顧客企業の関係者が見て、類似していると思われる自社製品の購入を再検討するという事案が発生した際には、活動前であれば販売を躊躇していたものの、活動を行っている現在では技術範囲を正しく理解でき相違点や自社独自技術との対比を明確に示せる環境が整っており、逆に自社製品の優位性を顧客に理解して頂き販売の促進効果をもたらした経緯がある。これは、知財活動を積極的に行ってきた成果であると考えている。



<同社が製造する自動車車体部品>

*写真提供：株式会社キーレックス

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

2. 県内企業による知財活用事例 ②デルタ工業株式会社

経営者が知財に対する高い意識を持ち、経営方針として自社技術を知財につなげてきたことで事業の成功につながった

1 基本情報

- ・ 所在地： 広島県安芸郡府中町新地1-14
- ・ 設立： 1953年3月
- ・ 資本金： 9,100万円

2 事業概要および特徴

- ・ 自動車用シートのほか、スライドアジャスターやリクライナー、スライダーなどを製造する自動車部品メーカー。



＜ものづくり日本大賞を受賞した独自のシート＞

3Dネットと航空機設計の技術を応用したADスクエアシートフレームを用いたシート技術は、振動を大幅に低減する機能により軽量で快適性に富むシート技術を商品化した事が認められ、内閣総理大臣表彰「第5回ものづくり日本大賞」では優秀賞（製品・技術開発部門）を受賞した。

3 経営者の方針で自社技術を知財に

- ・ 経営者が「オンリーワン、ナンバーワン」という経営方針を掲げ、自社技術を知財につなげていく考え方であったことや、主要顧客である自動車メーカーが元々、自社技術を守るべく知財をおさえおくようにというスタンスであったことから、知財の取得は積極的に行っている。これまでに取得した知財は1000件以上である。

4 大学との共同研究や共同出願を実施

◆4名の知財担当者が社内調査を行う

- ・ 社内の知財専任の担当者は4名いて、拒絶理由通知が来た際の対応を行ったり、社内の開発側から申し出があった際に調査を行ったりしている。

◆大学との共同開発や共同出願も実施

- ・ 色々な大学と付き合いがある中で、権威のある先生と共同研究を行うことも多い。その成果を共同出願した実績も何件もあり、学会発表なども行っている。基礎となるアイデアを自社で創出し、その検証のために大学への委託研究や共同研究を実施するというスタンスを基本とすることで、知財についての線引きを行っている。

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

2. 県内企業による知財活用事例 ②デルタ工業株式会社

5 海外への出願費用軽減措置を利用

- 海外には中国に4工場を展開し、タイ、ミャンマーに加えメキシコに2工場を設立。中南米市場へ展開しているため、中国経済産業局の中小企業知的財産活動支援事業費補助金を利用したことがある。また特許庁の中小企業外国出願支援事業を利用してアメリカ、中国、タイ、ヨーロッパ、メキシコに出願を行った。



<デルタ工業株式会社の海外拠点>

6 今後は海外での模倣品対策が必要になる可能性

- 他社からの警告を受けることはあるが、それほど頻繁ではない。また、他社が模倣しているかどうかというところまでは充分にはチェックできていないが、現時点ではお互いに侵害しないようにケアしながらやっているため、大きな問題にはなっていない。海外（特に中国や韓国）での模倣品対策についても、今後そういった事案が出てきた際には対応を検討する必要がある。

7 経営者が知財に対する理解が高いことが成功要因

◆経営者の知財に対する理解が高い

- 経営者が知財活用に対して理解があるために予算もつきやすいことが成功している要因として一番大きい。自社で開発した技術を確実に守り、他社と差別化するためには知財の取得が当たり前のこととなっている。新入社員に対しては知財担当者による教育を行ったり、発明表彰において、初めて特許出願を行った社員を表彰する新人賞を設けたりすることで、知財に対する意識は上がっていると感じている。

◆知財の取得は顧客への営業でもメリットになる

- 顧客企業に対して新しい技術開発をアピールするため、営業面でもメリットがあると感じている。



<主力製品である自動車用シート>

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

2. 県内企業による知財活用事例 ③株式会社島ごころ

知財総合支援窓口を活用し、自社出願で費用をかけずに権利を守りながら、販路拡大と商品のブランド化に成功

1 基本情報

- 所在地： 広島県尾道市瀬戸田町沢209-32
- 設立： 2008年4月

2 事業概要および特徴

- 2008年にオーナーパティシエの生まれ故郷、瀬戸田町がある生口島に夫婦2人でオープン。「瀬戸田をもっと誇れる島にしたい」との思いから、島の特産品であるレモンを使ったレモンケーキの製造販売を行っている。
- 生口島は尾道から18km、三原から12km、愛媛県今治からは25kmのしまなみ海道のほぼ中央にある人口約8,700人の島で、島の約50%が急傾斜になっているため日当たりが良く、瀬戸内海でも指折りの柑橘類の産地で、レモンの生産量は日本一を誇る。



<生口島とレモン>

3 販路拡大の中で取引先への影響を懸念して商標を取得

- 現在の主力商品である「島ごころ」は、発売当初は「まごころ」という名称で販売していたが、販路を拡大する中で気になって商標検索したところ、他社が商標を取得済みであることが分かった。店舗でお客様向けに販売しているだけなのに、販路を拡大するなかで自社と消費者の間に大手企業が入るようになると、何かあって迷惑をかけたらいけないという危機感を感じた。その後2年間かけて現在の名前を考え、思いついた翌日に出願した。現在は商品名と店舗名で3つの商標を保有している。



<主力商品「島ごころ」>

- 販売先としてはお土産市場に力を入れていて、県内を中心に大手百貨店やホテルなどに焦点を絞ってブランド戦略を行っている。インターネット販売も行っているが、自社サイトのみでの販売で、他のモールなどには取引先が各モール1社のみでの販売となるよう配慮している。

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

2. 県内企業による知財活用事例 ③株式会社島ごころ

5 知財総合支援窓口を活用して商標出願

◆知財総合支援窓口への相談で最初の商標を取得

- 現在、商標と意匠を5件ほど取得している。最初に取得しようとした商標は、何度か拒絶通知を受けるなど苦労した。その際に、発明協会に知財総合支援窓口があることを知り、相談に行ってその後の商標取得につながった。

◆これまでに利用した中で最も満足度の高い支援

- 最初の頃は紙の書類で申請していたため、特許印紙が島内で売っていないなど不便が多かったが、知財総合支援窓口で相談に行くようになり、電子申請ができることを聞いてソフトのセッティングなどもしてもらって大変助かった。今は相談するのは年に1回程度だが、訪問して手厚くフォローしてくれるため、これまでに利用した公的支援の中で最も満足度が高い支援だと感じているし、必要な人がいればぜひ紹介したい。

◆出願は自社で実施し費用削減、弁理士も活用

- 出願は全て自身で行っているため、特に費用もかからず補助金等は利用していない。知財総合支援窓口のアドバイザーから岡山の弁理士を紹介してもらい、顧問契約している。知財が取ればいいというだけではなく、食品関係に精通していて、ブランド戦略についてもアドバイスをくれるため、助かっている。

6 事業拡大に知財は非常に重要であると認識

- 防御は最大の攻撃であると考えているため、知財の取得は非常に重要視している。知財を取得するかどうかは、事業としてどこまでの規模を目指すかによって変わってくるが、事業拡大を考えるのであれば、攻撃の対象にならないためにも取得しておかないといけない。知財を持っていることで、色々な市場に出て行っても思い切って攻めていけると感じていて、販路拡大には非常に重要である。知財が取得できないものはやらないという方針でやっている。



<自社店舗の様子>

7 今後は海外への出願を検討

- 今後の事業展開に応じては海外への出願も考えていることから、弁理士への依頼を検討している。

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

2. 県内企業による知財活用事例 ④有限会社竹田ブラシ製作所

模倣品が出回ったことをきっかけに特許を取得、常に「世界一の品質」「世界初の新しさ」を追求した結果、国内外のトップアーティストに愛用されるブランドとして認知

1 基本情報

- 所在地： 広島県安芸郡熊野町中溝4-8-1
- 設立： 昭和22年1月（昭和39年3月に法人化）
- 資本金： 300万円

2 事業概要および特徴

- 国内最大の筆産地である広島県熊野町で、昭和22年に先代の社長が個人商店として創業以来、約70年にわたって化粧ブラシ専門メーカーとして自社ブランド品の製造販売を行っている。
- 歌舞伎や演劇等に使われる日本化粧刷毛類からメイクアップブラシ類まで800アイテム以上を製造販売し、国内の大手百貨店や海外のトップアーティストと個人契約したり、国内外の大手化粧品メーカーへのOEM実績を持っている。
- 2011年8月には、なでしこJAPANへの国民栄誉賞の副賞として、内閣府から直接指名を受け化粧ブラシの7本セットを提供し話題になった。



<同社のブラシ製品例>

3 模倣品が出回ったことをきっかけに知財保護の重要性を認識

- 1982年に開発した携帯用スライド式チークブラシが販売開始約2年後には日本や韓国でコピーされて同様の商品が出回った。その際、意匠登録だけでも出願しておけばよかったと後悔した経験から、新規性の高い商品には必ず実用新案・意匠・特許などの登録を行うようになった。最近開発した製品では、片手のワンプッシュ操作で蓋が自動開閉して穂先が出入し、ロックできるのもので、内部構造（日本、米国、欧州4カ国特許取得済）と蓋開閉構造（日本、中国、韓国、米国特許取得済、欧州申請中）に特許を取得（口紅等の化粧品の容器として登録）している。また、「竹田ブラシ」「Takeda Brush」の商標登録もしている。



<特許取得の蓋付スライド式携帯用チークブラシ>

II. 広島県の産業特性と知財活用事例

2. 県内企業による知財活用事例 ④ 有限会社竹田ブラシ製作所

4 世界一の品質と新しさにこだわった結果が特許に

◆知財の取得がブランド確立につながった

- ・ 常に「世界一」「世界初」を目指し、他にはない商品を作るという意識でやってきたことから、特許構造を持つ世界初商品などオリジナルの設計やデザインを実現できた。国内外のトップアーティストとの交流や、化粧筆メーカーとしては初の都内百貨店に直営店舗を持つなど、自社ブランドの確立に力を入れている。常に「世界一の品質」「世界初の新しさ」を意識した技術革新を求め、その第一歩として1989年に開発したイタチ毛のラウンド型リップブラシは、一度使ったら他のものが使えなくなるようなものを作りたいと思い、それを実現させ、今でも看板商品のひとつである。

◆知財活用でコストダウンも

- ・ 新しい構造の着想により部品点数が減り、作業効率は何倍も向上し製品としての機能の安定性も増した。

5 近年は品質向上の基準作りに力を入れる

- ・ 2008年のリーマンショック以降、2人の息子達が経営に参画し、品質をさらに上げる基準作りなどに力を入れてきた。最初の頃は社内で反対意見もあったが、2011年になでしこJAPANへの国民栄誉賞の副賞に選ばれた頃から考え方が変わって、現在はこのやり方が間違っていなかったと実感している。

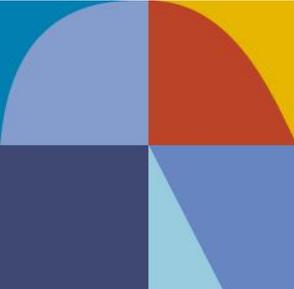
6 国内製造基盤の縮小が課題

- ・ 海外で色々なものが作られるようになり、国内の筆の部品を作るメーカーが次々と廃業、倒産しており、国内の製造基盤が失われつつあることが大きな課題である。産地としての「熊野」においても、海外工場への製造依存率の上昇や、製造証明機関がなく基本的に自己申告制であることにより、どれが本当に日本製か判断が付かないといった課題がある。そのような状況下で低価格化競争が発生し、職人の生計も常に見通しが立たないために育成が進まず、筆そのものの製造基盤も非常に危うい状況である。



＜国民栄誉賞の副賞に選ばれた同社の「基本ブラシセットベーシック椿＞

*写真提供：有限会社竹田ブラシ製作所



Ⅲ. 参考資料

1. 県内の産業の現状

- (1) 人口および世帯数
- (2) 業種別企業数
- (3) 規模別事業所数
- (4) 製造品出荷額
- (5) 県民総生産

2. 知財に関する現状

- (1) 企業や大学研究機関等における研究開発費
- (2) 特許等の発明者数・創作者数
- (3) 弁理士事務所数、知財ビジネス企業数
- (4) 地域団体商標の取得団体
- (5) 国・地方公共団体・関係機関による表彰企業リスト
- (6) 産学連携等の実績

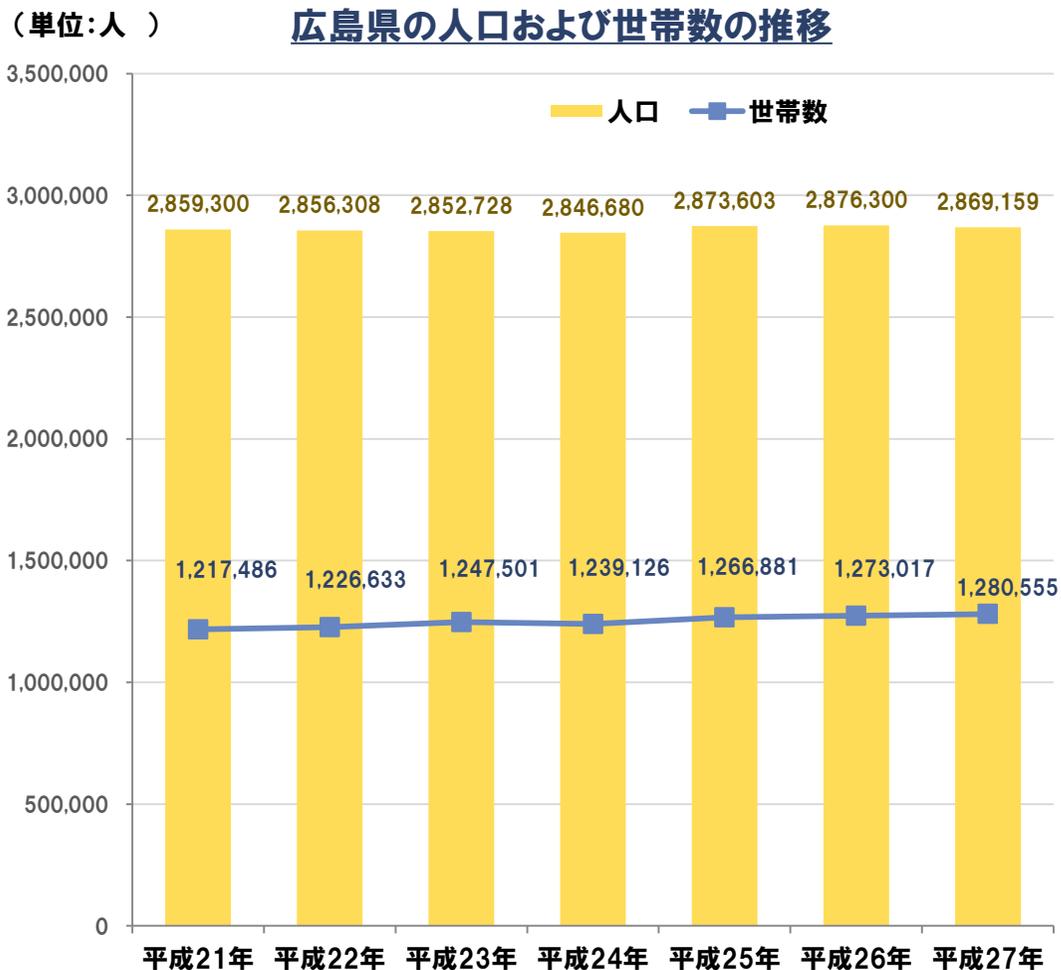
3. 知財に力を入れている教育機関

4. 支援機関

1. 広島県の産業の現状

(1)人口および世帯数

- 広島県では、平成21年度以降、世帯数および人口数ともに微増傾向にある。



| 年 | 男 | 女 | 人口 | 世帯数 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| H21 | 1,383,862 | 1,475,438 | 2,859,300 | 1,217,486 |
| H22 | 1,382,471 | 1,473,837 | 2,856,308 | 1,226,633 |
| H23 | 1,380,736 | 1,471,992 | 2,852,728 | 1,247,501 |
| H24 | 1,377,499 | 1,469,181 | 2,846,680 | 1,239,126 |
| H25 | 1,389,017 | 1,484,586 | 2,873,603 | 1,266,881 |
| H26 | 1,391,174 | 1,485,126 | 2,876,300 | 1,273,017 |
| H27 | 1,388,164 | 1,480,995 | 2,869,159 | 1,280,555 |

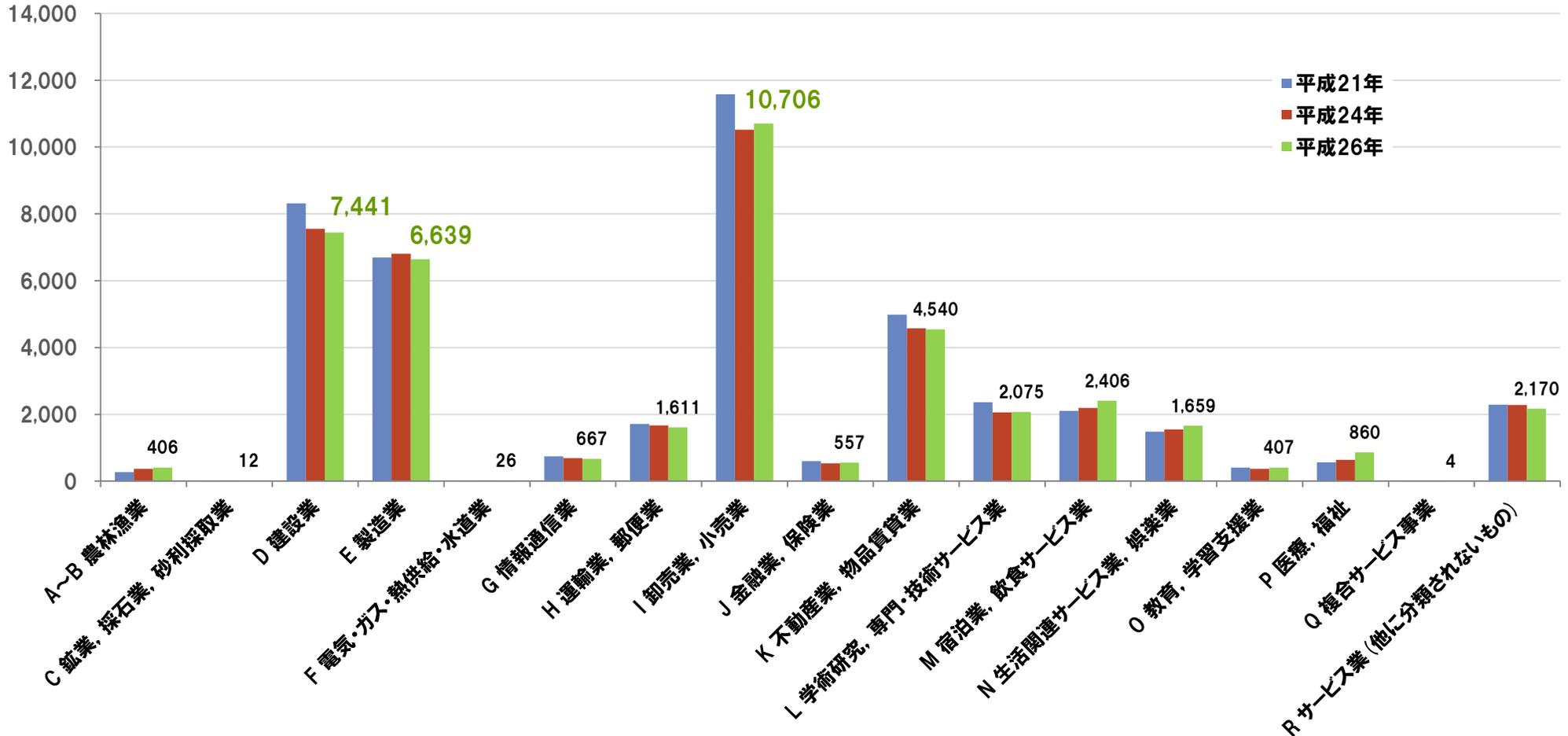
*出典: 総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

1. 広島県の産業の現状

(2)業種別企業数

- 企業数では、卸・小売業に次いで建設業、製造業が多く、平成21年から24年の推移では業種によって差があるものの、若干の減少傾向が見られる。

広島県における業種別企業数の推移



*出典：経済センサス(平成21年・24年・26年結果)

1. 広島県の産業の現状

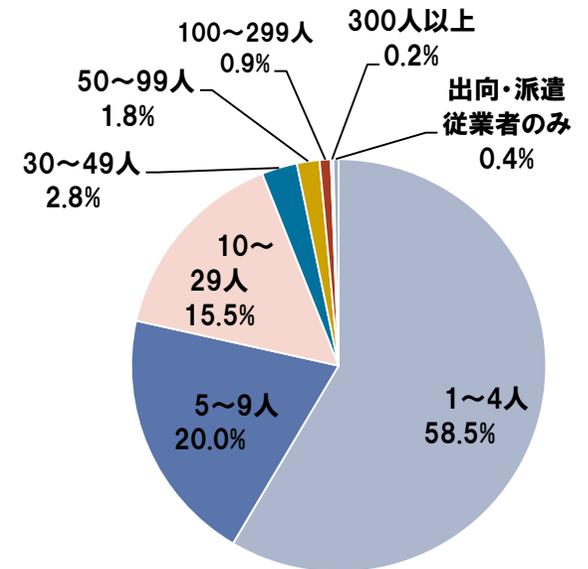
(3) 規模別事業所数

- 規模別事業所数の推移では、平成21年から24年の間に事業所数は減少。従業員規模別事業所数の割合では、1～4人の事業所が最も多く半数以上の58.8%を占める。

広島県の従業員規模別事業所数の推移

| 広島県 従業者規模 | H21 | | H24 | |
|------------------|---------|-------------|---------|-------------|
| | 事業所数 | 従業者数 (人) | 事業所数 | 従業者数 (人) |
| A～R 全産業 (S公務を除く) | 138,867 | 1,334,269 | 129,504 | 1,287,533 |
| 1～4人 | 82,259 | 178,666 | 75,758 | 164,694 |
| 5～9人 | 27,630 | 180,783 | 25,898 | 169,506 |
| 10～29人 | 21,080 | 336,911 | 20,070 | 322,252 |
| 30～49人 | 3,812 | 143,276 | 3,589 | 135,580 |
| 50～99人 | 2,371 | 161,700 | 2,286 | 156,317 |
| 100～299人 | 1,129 | 178,681 | 1,127 | 179,965 |
| 300人以上 | 242 | 154,252 | 244 | 159,219 |
| 出向・派遣従業者のみ | 344 | | 532 | - |

従業員規模別事業所数の割合



出典：経済センサス 活動調査(平成21年、平成24年)

1. 広島県の産業の現状

(4) 製造品出荷額

- 製造品出荷額は全国平均を大きく上回る額で推移。産業中分類別では航空機や自動車等の輸送用機械器具製造業、鉄鋼業が多い。全国順位で見ると木材・木製品製造業、家具・装備品製造業も高い。

広島県における製造品出荷額の推移



*出典: 経済産業省工業統計調査(平成21年~25年)

産業中分類別製造品出荷額および事業所数(平成24年度)

| | 製造品出荷額 | | 事業所数 | |
|-------------------|-------------|------|------|------|
| | 額(万円) | 全国順位 | 数 | 全国順位 |
| 輸送用機械器具製造業 | 241,461,993 | 4 | 662 | 4 |
| 鉄鋼業 | 148,920,377 | 4 | 185 | 7 |
| 生産用機械器具製造業 | 68,196,359 | 7 | 647 | 10 |
| 食料品製造業 | 60,097,684 | 14 | 669 | 16 |
| 情報通信機械器具製造業 | 41,924,875 | 11 | 19 | 21 |
| 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | 40,434,667 | 10 | 56 | 30 |
| プラスチック製品製造業 | 39,531,245 | 12 | 249 | 18 |
| 化学工業 | 33,363,081 | 23 | 97 | 18 |
| 非鉄金属製造業 | 33,137,327 | 14 | 66 | 17 |
| 金属製品製造業 | 29,288,093 | 18 | 723 | 14 |
| はん用機械器具製造業 | 25,683,190 | 13 | 237 | 8 |
| 電気機械器具製造業 | 20,346,479 | 22 | 224 | 14 |
| 窯業・土石製品製造業 | 13,089,434 | 21 | 209 | 22 |
| パルプ・紙・紙加工品製造業 | 12,518,920 | 15 | 127 | 14 |
| 木材・木製品製造業 | 11,850,172 | 4 | 196 | 8 |
| 繊維工業 | 11,393,404 | 12 | 452 | 12 |
| 印刷・同関連業 | 10,955,263 | 11 | 258 | 15 |
| ゴム製品製造業 | 8,095,658 | 14 | 87 | 10 |
| 業務用機械器具製造業 | 6,225,531 | 25 | 62 | 18 |
| 飲料・たばこ・飼料製造業 | 5,669,143 | 31 | 87 | 19 |
| その他の製造業 | 4,913,751 | 24 | 236 | 12 |
| 家具・装備品製造業 | 4,603,672 | 13 | 231 | 9 |
| 石油製品・石炭製品製造業 | 1,508,721 | 22 | 28 | 12 |
| なめし革・同製品・毛皮製造業 | 275,529 | 21 | 7 | 26 |

*出典: 平成24年経済センサスー活動調査

1. 広島県の産業の現状

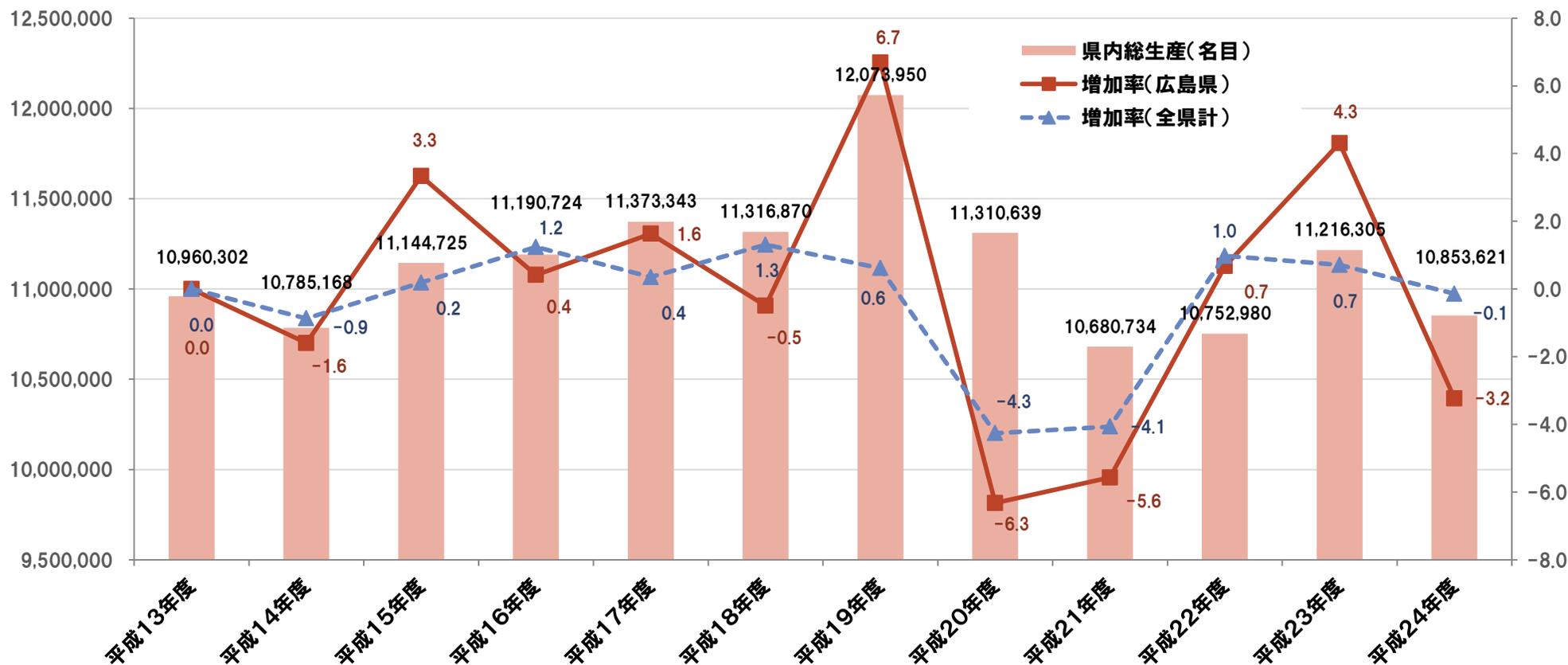
(5) 県民総生産

- 広島県における県民総生産額は、平成24年度で10兆8,536億2千万円で全国順位12位。増加率は全県計と比較し若干低い傾向が見られる。

広島県における県民総生産の推移

(単位:100万円)

(単位:%)



*出典: 内閣府 県民経済計算(平成13年度 - 平成24年度)

2. 知財に関する現状

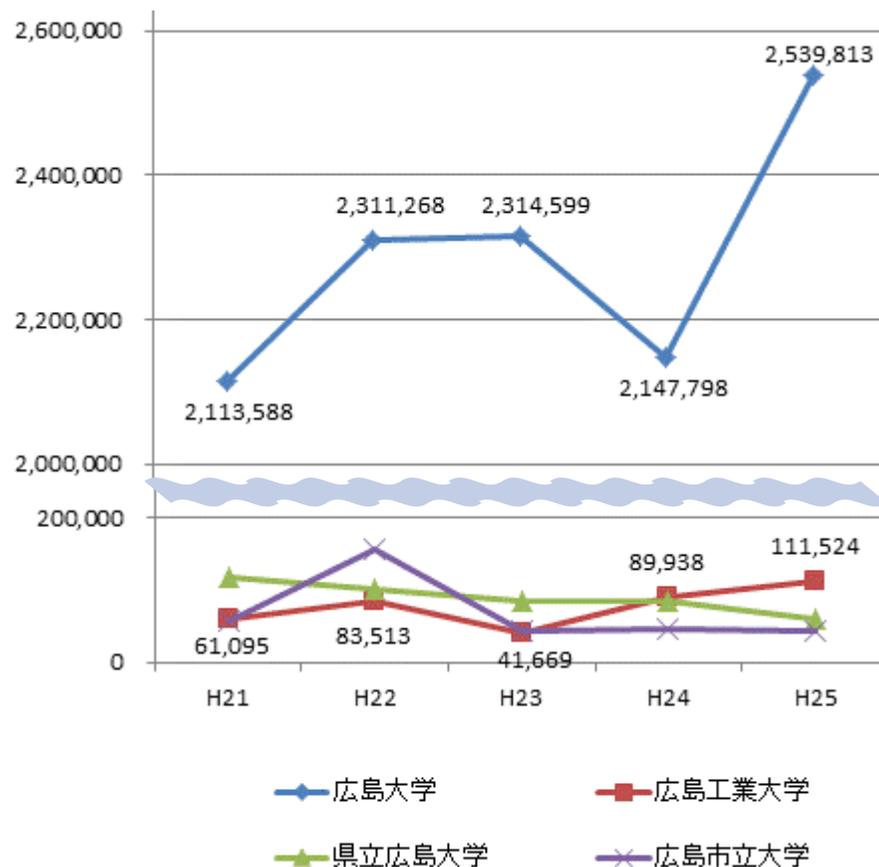
(1) 企業や大学研究機関等における研究開発費

- 広島県内の大学研究機関等の研究開発費の推移では、共同研究と受託研究の合計受入額は広島大学で平成25年に大きく増加しているほか、その他の大学においても増加傾向にある。

大学研究機関等の研究開発費の推移

| | | 共同研究 | | 受託研究 | | 合計 | |
|--------|-----|------|---------|------|-----------|-----|-----------|
| | | 件数 | 受入額(千円) | 件数 | 受入額(千円) | 件数 | 受入額(千円) |
| 広島大学 | H21 | 319 | 665,689 | 258 | 1,447,899 | 577 | 2,113,588 |
| | H22 | 334 | 743,602 | 228 | 1,567,666 | 562 | 2,311,268 |
| | H23 | 344 | 665,750 | 297 | 1,648,849 | 641 | 2,314,599 |
| | H24 | 360 | 598,977 | 264 | 1,548,821 | 624 | 2,147,798 |
| | H25 | 359 | 671,318 | 279 | 1,868,495 | 638 | 2,539,813 |
| 広島工業大学 | H21 | 20 | 26,659 | 27 | 34,436 | 47 | 61,095 |
| | H22 | 21 | 33,837 | 24 | 49,676 | 45 | 83,513 |
| | H23 | 17 | 13,177 | 20 | 28,492 | 37 | 41,669 |
| | H24 | 17 | 22,180 | 21 | 67,758 | 38 | 89,938 |
| | H25 | 19 | 20,556 | 19 | 90,968 | 38 | 111,524 |
| 県立広島大学 | H21 | 27 | 34,995 | 36 | 83,014 | 63 | 118,009 |
| | H22 | 55 | 36,999 | 41 | 63,715 | 96 | 100,714 |
| | H23 | 37 | 21,007 | 50 | 64,441 | 87 | 85,448 |
| | H24 | 16 | 18,948 | 42 | 65,375 | 58 | 84,323 |
| | H25 | 19 | 17,995 | 39 | 41,893 | 58 | 59,888 |
| 広島市立大学 | H21 | 0 | 0 | 15 | 57,282 | 15 | 57,282 |
| | H22 | 13 | 47,745 | 21 | 107,652 | 34 | 155,397 |
| | H23 | 13 | 12,900 | 21 | 31,627 | 34 | 44,527 |
| | H24 | 12 | 32,084 | 15 | 13,696 | 27 | 45,780 |
| | H25 | 7 | 6,587 | 20 | 36,692 | 27 | 43,279 |

単位:千円



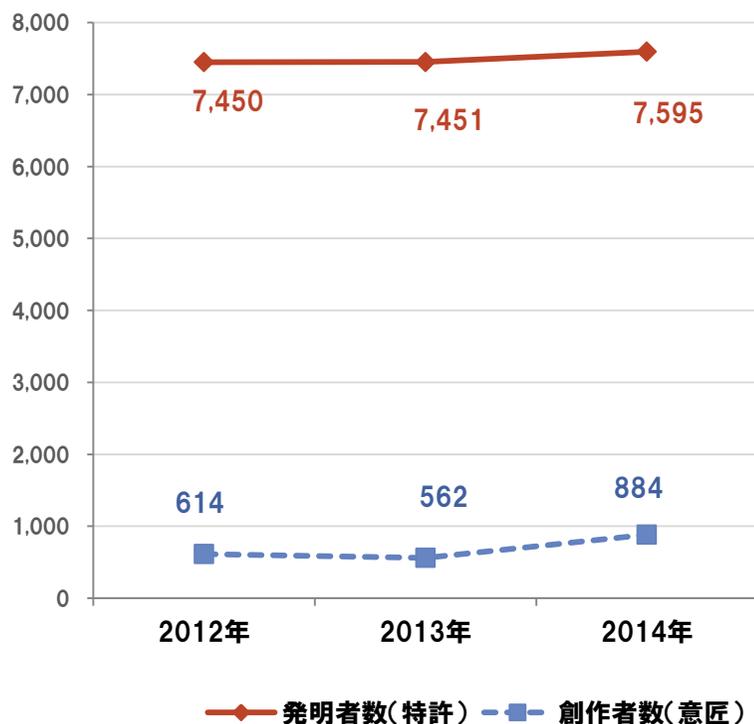
出典:文部科学省「大学等における産学連携等実施状況について」平成21年～平成25年

2. 知財に関する現状

(2) 特許等の発明者数・創作者数

- 広島県内の発明者数および創作者数の推移は以下の通り。創作者数(特許)が全国第9位、発明者数は13位である。

発明者数(特許)および創作者数(意匠)



| | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 全国順位 (2014年) |
|----------|-------|-------|-------|-----------------|
| 発明者数(特許) | 7,450 | 7,451 | 7,595 | 13 |
| 創作者数(意匠) | 614 | 562 | 884 | 9 |

出典:特許行政年次報告書2015年版※日本人によるもの(平成26年)

2. 知財に関する現状

(3) 弁理士事務所数、知財ビジネス企業数

- 弁理士ナビに掲載されている広島県内の弁理士事務所は33箇所。また、INPITの知財取引事業者一覧リストには、広島県内企業が3社登録されている。

広島県内の弁理士事務所

| | |
|----|---|
| 1 | 芦田・木村国際特許事務所広島事務所 |
| 2 | 維新国際特許事務所広島オフィス |
| 3 | 市川特許事務所 |
| 4 | 太田国際特許事務所広島支所 |
| 5 | 岡野特許商標事務所 |
| 6 | 鍵下特許事務所 |
| 7 | 霞が関国際特許事務所広島出張所 |
| 8 | 悴熊特許事務所 |
| 9 | 片田特許事務所 |
| 10 | かなえ国際特許事務所福山オフィス |
| 11 | かわすみ特許商標事務所 |
| 12 | 迎田国際特許事務所 |
| 13 | 佐藤特許事務所 |
| 14 | 専徳院特許事務所 |
| 15 | たていし弁理士事務所 |
| 16 | 鶴亀特許事務所 |
| 17 | 中島特許事務所 |
| 18 | 二上特許事務所 |
| 19 | 西日本法律事務所 |
| 20 | 新田特許事務所 |
| 21 | 信末特許事務所 |
| 22 | 特許業務法人HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK広島事務所 |
| 23 | フリーダム特許事務所 広島オフィス |
| 24 | 古田・田村特許事務所 |
| 25 | フロンティア国際特許事務所広島オフィス |
| 26 | 弁護士法人岡野法律事務所 |
| 27 | 弁護士法人岡野法律事務所 尾道さくら支店 |
| 28 | 保坂特許事務所 |
| 29 | 特許業務法人前田特許事務所広島オフィス |
| 30 | 三島特許事務所 |
| 31 | 三原特許事務所 |
| 32 | 特許業務法人山広特許事務所 |
| 33 | 横谷法律特許事務所 |

*出典：弁理士ナビ(弁理士会ホームページ)

広島県の知的財産取引事業者

| | 事業者名 | 所在地 |
|---|--|---------------|
| 1 | ウィズウイン株式会社 | 広島市中区 |
| | 知的所有権を有するアイデアやこれから知的所有権を取得しようとするアイデアを商品化するためには通常試作品を製作し、マーケティングリサーチを行う「バーチャル試作品マーケティングリサーチ・システム」を提供。 | |
| 2 | 日鋼設計株式会社 | 広島市安芸区 |
| | 各種樹脂成形加工技術の知的財産を有し、樹脂加工機械の設計とその電気計装設計及び制御ソフト設計、一般産業機器の製品開発評価及び機器製造、各種エンジニアリングサービスを実施。 | |
| 3 | 企業組合 リエゾンコンサルティング協会 | 広島市中区 |
| | 各専専門的な知識、技術、技能又は経験を活用して行う指導、調査及び開発（技術移転活動に関わる各種調査やコンサルティング等のサポート業務を含む）など、幅広いニーズに対応。 | |

*出典：INPIT 知的財産権取引事業者一覧

2. 知財に関する現状

(4) 地域団体商標の取得団体

- 広島県内で地域団体商標を取得している団体は10団体ある。(平成27年12月31日までに登録されたもの)

◆地域団体商標の取得団体

| # | 団体名 | 地域団体商標 |
|----|----------------|---------------------------|
| 1 | 広島ゆたか農業協同組合 | 大長レモン、大長みかん |
| 2 | 広島県果実農業協同組合連合会 | 広島みかん、広島はっさく、広島レモン、三次ピオーネ |
| 3 | 広島県漁業協同組合連合会 | 広島かき |
| 4 | 広島県酒造組合連合会 | 広島酒 |
| 5 | 広島県針工業協同組合 | 広島針 |
| 6 | 広島県蘭製品商業協同組合 | びんご壺表 |
| 7 | 三原農業協同組合 | 高根みかん |
| 8 | 府中家具工業協同組合 | 府中家具 |
| 9 | 福山市農業協同組合 | 福山のくわい |
| 10 | 福山邦楽器製造業協同組合 | 福山琴 |

*出典:特許庁ホームページ地域団体商標MAP
(平成27年12月31日までに登録されたもの)

◆地理的表示保護制度の活用団体 該当なし

2. 知財に関する現状

(5) 国・地方公共団体・関係機関による表彰企業リスト

- 平成22年以降、知財功労賞を受賞した広島県内の企業は3社、知的財産権活用事例集2014に掲載された企業は4社ある。

知財功労賞 表彰企業 (H22～27)

| 企業名 | 表彰概要 |
|-------------|--------------------------------------|
| テンパール工業株式会社 | 平成22年度 特許庁長官表彰 知的財産権制度活用優良企業等(特許活用) |
| 中国電力株式会社 | 平成23年度 経済産業大臣表彰 知的財産権制度活用優良企業等(特許活用) |
| 株式会社サタケ | 平成25年度 経済産業大臣表彰 知的財産権制度活用優良企業等(特許活用) |

*出典:特許庁ホームページ

知的財産権活 用事例集2014 掲載企業

| 企業名 | 業種 | 企業概要 |
|--------------|--------------|---|
| 株式会社ケミカル山本 | 化学・プラスチック・材料 | <ul style="list-style-type: none"> 所在地: 広島県広島市佐伯区五日市町美鈴園17-5 資本金: 1,600万円 従業員数: 40名 事業内容: ステンレスの溶接焼け・さび取りと電解研磨用資材、ステンレスの非破壊的材質判別器並びにステンレスの安全無害な不動態化処理とその判別システム |
| 広島化成株式会社 | 化学・プラスチック・材料 | <ul style="list-style-type: none"> 所在地: 広島県福山市松浜町2-2-11 資本金: 2億円 従業員数: 430名 事業内容: ゴム・プラスチック製品の製造販売 |
| 株式会社サタケ | 農業機械・食品機械 | <ul style="list-style-type: none"> 所在地: 広島県東広島市西条西本町2-30 資本金: 2億8,000万円 従業員数: 1,050名 事業内容: 食品産業総合機会及び食品の製造販売 |
| 株式会社デルタツーリング | 産業機械・環境関連機器 | <ul style="list-style-type: none"> 所在地: 広島県広島市安芸区矢野新町1-2-10 資本金: 8,000万円 従業員数: 121名 事業内容: 金属プレス用金型の設計・製造・販売、産業用生産設備・治具の設計・製造・販売、自動車関連製品の設計・製造・販売 |

*出典:特許庁「知的財産権活用事例集2014」

2. 知財に関する現状

(6) 産学連携等の実績

- 広島大学は全国の301機関中、特許権実施等収入で14位である。

| 機関名 | 国公私種別 | 大学・短大等分類 | 特許出願件数 | 特許権実施等件数 | 特許権実施等収入(金額:千円) | 特許保有件数 | 実施許諾中特許権数 | ランニングロイヤリティ収入のあった特許権数 |
|--------|-------|----------|--------|----------|-----------------|--------|-----------|-----------------------|
| 広島大学 | 国立 | 大学 | 119 | 278 | 20,256 | 738 | 203 | 41 |
| 広島国際大学 | 私立 | 大学 | 4 | 4 | 45 | 10 | 4 | 3 |
| 広島市立大学 | 公立 | 大学 | 13 | 0 | 0 | 21 | 0 | 0 |
| 県立広島大学 | 公立 | 大学 | 5 | 0 | 0 | 10 | 0 | 0 |
| 広島工業大学 | 私立 | 大学 | 7 | 0 | 0 | 27 | 0 | 0 |

出典:文部科学省 平成26年度 大学等における産学連携等実施状況について
 (http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/sangakub.htm)

3. 知財に力を入れている教育機関

- 知財に力を入れている教育機関としては、以下のような大学がある。

| 大学名 | 部署 | 知財に関する取組概要等 |
|--------|-----------------------|--|
| 広島大学 | 産学・地域連携センター 知的財産部門 | 知の創造サイクルを回して、イノベーション促進と産業活性化に貢献する』を活動理念として広島大学の知財出願から技術移転までの実務を行う。 |
| 広島市立大学 | 社会連携センター | 産学連携の推進、地域連携の推進、知的財産の管理と活用、学生の社会貢献活動の支援、公開講座の開催など、大学と社会、人と人をつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の成果を社会に還元するための取組みを行う。 |
| 広島工業大学 | 産学連携推進センター | 企業との共同研究・受託研究の窓口となって、知的財産の管理や技術移転の支援を行う。 |

出典:各大学ホームページ

4. 支援機関

- 広島県内の支援機関には以下のようなものがある。

| # | 名称 | 所在地 | 連絡先 | 支援概要 |
|---|-------------------|-------------------------------------|---|---|
| 1 | 知財総合支援窓口 | 一般社団法人広島県発明協会内 | TEL 082-247-2562 | 知的財産に携わる様々な専門家や支援機関と共同して中小企業等の知財に関する課題解決を図るワンストップサービスを提供。 |
| 2 | 一般社団法人 広島県発明協会 | 広島市中区千田町3-13-11 広島発明会館 | TEL:082-241-3940 FAX: 082-241-4088 info@hiroshima-hatsumei.jp | 発明の奨励、青少年等の創造性開発育成及び知的財産権制度の普及啓発等を行うことにより、科学技術の振興を図る。 |
| 3 | 公益財団法人 ひろしま産業振興機構 | 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ | TEL 082-240-7715 FAX 082-242-8627 | 県内産業の発展のため、産学官連携による新技術・新製品開発や、創業・新事業展開、経営革新、経営基盤の強化、国際ビジネスの支援などを行う。 |
| 4 | 広島県中小企業知財支援センター | 公益財団法人 ひろしま産業振興機構内 | TEL 082-240-7715 FAX 082-242-8627 | 中小企業が企業経営の中で抱える知財に関する悩みを解決するとともに、知財を活用した事業化を促進する。 |
| 5 | 株式会社 広島テクノプラザ | 東広島市鏡山3-13-26 | TEL 082-420-0500 FAX 082-420-0501 | 地域企業の技術高度化と研究開発支援を目的に、開発機器の貸出や貸事務所・研究室の提供のほか、企業の技術力・研究開発力の向上に向けた各種の研修を実施している。 |
| 6 | 広島県中小企業団体中央会 | 広島市中区基町5番44号 広島商工会議所ビル6階 | TEL 082-228-0926 | 組合の設立や運営の指導あるいは中小企業を基盤とする公益法人、共同出資会社、任意グループなどの組織の運営等について相談に応じる。 |
| | | *福山支所 福山市西町2-10-1 福山商工会議所ビル7F | TEL 084-922-4258 | |
| 7 | 広島県商工会連合会 | 広島市中区大手町3-3-27 大手町マンション2F | TEL 082-247-0221 FAX 082-249-0565 contact@active-hiroshima.jp | 商工会の運営指導をはじめ、商工会全般の健全な発展と商工業の振興に寄与する目的から様々な事業を展開している。 |
| 8 | 広島県商工会議所連合会 | 広島市中区基町5-44 広島商工会議所内 | TEL 082-222-6610 FAX 082-222-6664 | 経営改善普及事業の推進、小規模事業者の経営安定強化を図る巡回・窓口相談、経営改善計画などの策定支援を行う。 |

出典：各機関のホームページ

